

施策評価シート

施策等名称	文化芸術を活用したまちづくり	体系番号	0201020304
		主管課	生涯学習課

1 施策基本情報

現状と課題		茅野市では国宝土偶「縄文のビーナス」「仮面の女神」に代表される「縄文」を活かしたまちづくりを進め、地域の歴史的魅力や特色を国内外へ積極的に発信するとともに、関係団体との連携を図り、まちの賑わい創出や地域活性化に取り組んでいます。また、文化芸術が持つ創造性を地域の様々な課題解決の手段として活用する動きが注されていることから、伝統的な祭りや文化財・芸術作品の展示、映画祭、アートプロジェクト、イベント等といった地域の文化資源や文化芸術活動を産業・観光・福祉などの分野で活用し、地域の新たな魅力やブランドを創出する取組が必要とされています。							
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)		文化芸術を様々な分野に活かし、賑わいや交流を生む取組を進めます。							
施策指標	指標名称		指標の説明(単位)		計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値			
	①	尖石縄文考古館来館者数	人		53,824	60,000 70,000			
	②	「茅野ブランドの創出」の取組に対する市民満足度	%		20.00	25.00 30.00			
	③								
施策の体系	施策の柱 1	名称	文化芸術を活用したまちづくりの推進			主管課	文化財課・縄文プロジェクト推進室		
		詳細	地域の伝統文化、文化芸術活動を活用し、地域振興につなげる取組を推進します。						
		まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業 区分		
		1	尖石縄文まつり入場者数	縄文まつり来場者数(人)	3,800	4,000	1	尖石縄文まつり事業(関係団体支援等事業費の	中止
						4,000	2	ハケ岳JOMONライフフェスティバル事業(縄文	
		2	ハケ岳JOMONNライフフェスティバル来場者数(3年毎)	ハケ岳JOMONライフフェスティバル来場者数(人)	29,425	32,000	3		
						36,000	4		
		3					5		
							6		
		基本政策間連携							
	施策の柱 2	名称	産業・観光分野における文化芸術の活用			主管課	観光課・商工課		
		詳細	滞在・交流型観光プログラムにおける地域の伝統文化や文化芸術活動の活用を推進します。						
		まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業 区分		
		1	地域資源を活用した旅行商品の開発	推進機構が造成する独自旅行商品の累計数(件)	0	50	1	観光まちづくり推進事業	実施
						2	縄文関連商品開発支援事業(新商品開発支援事業)		
2		縄文関連商品の開発	縄文関連商品開発件数(件)	0	2	3			
					2	4			
3						5			
						6			
基本政策間連携									
施策の柱 3	名称	健康・福祉分野における文化芸術の活用			主管課	中央公民館・健康づくり推進課 高齢者保険課			
	詳細	福祉施設・医療機関と連携した鑑賞事業や健康づくりと史跡めぐりのコラボレーション等、従来からある事業に文化芸術の視点を加えあらたな活用を図ります。							
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業 区分			
	1	高齢者大学参加者数	参加者数(中央公民館と地区学部の参加者数 定員150+60)	210	210	1	高齢者大学事業	実施	
					210	2	高齢者作品展(老人いきがい対策事業の内)		
	2					3	運動習慣づくり事業	実施	
						4			
	3					5			
						6			
	基本政策間連携								

施策等名称	文化芸術を活用したまちづくり	体系番号	0201020304
		主管課	生涯学習課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分		成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
指標No.			中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)					
施策		尖石縄文考古館来館者数	53,824	56,953	54,434	26,366	32,442	54,030	51,425
1			60,000	94.92	90.72	43.94	54.07	90.05	85.71
変動要因等	2018年度	平成29年度はハケ岳JOMONライフフェスティバル期間中無料入館の影響で増加したが、平成31年度は無料入館なしのため減少となった。							
	2019年度	台風19号が直撃した10月の入館者数が前年度に比べ低下したため。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う約2か月間の休館等により入館者数は大幅に減少した。							
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う約1か月間の休館等により入館者数は微増にとどまった。							
	2022年度	通年閉館し、前年に比べて新型コロナウイルスの影響が少なく、入館者数は大幅に増加した。							
	2023年度	コロナ前の水準に戻ったが、御柱祭にともなう入館があった前年に比べて入館者数は減少した。							
施策		「茅野ブランドの創出」の取組に対する市民満足度	20.00	22.40	-	-	-	-	-
2			25.00	89.60	-	-	-	-	-
変動要因等	2018年度	市民アンケートによる満足度。2.4%増。							
	2019年度	市民アンケートの内容精査により項目がなくなったため今年度から施策から除外する。							
	2020年度	除外。							
	2021年度	除外。							
	2022年度	除外。							
	2023年度	除外。							
柱1		尖石縄文まつり入場者数	4,000	4,240	3,411	-	-	-	-
1			4,000	106.00	85.28	-	-	-	-
変動要因等	2018年度	縄文まつりの案内配布を予定通り実施できたこともあり、入場者数が目標値を上回った。							
	2019年度	台風19号が直撃した10月の入館者数が前年度に比べ低下したため。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。							
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。							
	2022年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。							
	2023年度	縄文まつりそのものの開催を中止した。							
柱1		ハケ岳JOMONNライフフェスティバル来場者数(3年毎)	29,425	-	-	-	-	-	-
2			32,000	-	-	-	-	-	-
変動要因等	2018年度	3年毎の実施。次回は2020年度(令和2年度)の開催。							
	2019年度	3年毎の実施。次回は2020年度(令和2年度)の開催。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。又今後の実施も中止となった。							
	2021年度	除外。							
	2022年度	除外。							
	2023年度	除外。							
柱2		地域資源を活用した旅行商品の開発	0	19	25	30	35	41	41
1			50	38.00	50.00	60.00	70.00	82.00	82.00
変動要因等	2018年度	地方創生推進交付金事業の計画どおりの実施と地域おこし協力隊員の地域に根差した活動により商品造成が進展。							
	2019年度	茅野市オリジナル商品の達成が進んだ。							
	2020年度	茅野市オリジナル商品の達成が進んだ。(2019年中に造成した商品9件、本年度造成した商品21件)							
	2021年度	茅野市オリジナル商品の達成が進んだ。(2020年度までに造成した商品30件、本年度造成した商品5件)							
	2022年度	茅野市オリジナル商品の達成が進んだ。(2021年度までに造成した商品35件、本年度造成した商品6件)							
	2023年度	茅野市オリジナル商品の達成が進んだ。(2022年度までに造成した商品41件、本年度造成した商品2件)							
柱2		縄文関連商品の開発	0	1	0	0	1	0	1
2			2	50.00	0	0	50.00	0	50.00
変動要因等	2018年度	1件開発。							
	2019年度	新商品開発等は容易ではなくリスクもあり、開発は年によって差が生じる。							
	2020年度	新商品開発等は容易ではなくリスクもあり、開発は年によって差が生じる。							
	2021年度	1件開発。							
	2022年度	新商品開発等は容易ではなくリスクもあり、開発は年によって差が生じる。							
	2023年度	新商品開発事業補助金交付要綱についても事業者が挑戦しやすい内容に改正し、申請数の増加を図った。							

施策等名称	文化芸術を活用したまちづくり	体系番号	0201020304
		所管課	生涯学習課

No.	成果指標名		計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
			中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)					
柱3	1	高齢者大学参加者数	210	215	185	－	98	112	117
			210	102.38	78.57	－	46.67	53.33	55.71
変動要因等	2018年度	本学(中央公民館実施)145人、3地区学部70人(泉野20人・北山31人・湖東19人)計215人が参加。							
	2019年度	本学(中央公民館実施)121人、2地区学部44人(北山・湖東)計165人が参加。本学は1年次から2年次にあがる際の減少率が高い。また、地区学部の開催場所が1減となり参加者数に影響した。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。							
	2021年度	本学(中央公民館実施)69人、冬の講座(旧地区学部)29人計98人が参加。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から定員を半数にして実施した。							
	2022年度	本学(中央公民館実施)68人、冬の講座(旧地区学部)44人計112人が参加。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から定員を70名にして実施した。							
	2023年度	本学(中央公民館実施)66人、冬の講座(旧地区学部)51人計117人が参加。感染症リスクが高い高齢者対象事業であり、感染症予防の観点から引き続き定員を70名にして実施した。							

施策等名称	文化芸術を活用したまちづくり				体系番号	0201020304	
					主管課	生涯学習課	

3 評価・改革改善

(単位:円)

項 目		2018年（前年度比）		2019年（前年度比）		2020年（前年度比）		2021年（前年度比）		2022年（前年度比）		2018年～2023年（総括）	
評価 <													

作成担当者	北澤 ゆき子	伊藤 利恵	伊藤 利恵	伊藤 利恵	伊藤 利恵	武居 直樹
最終評価責任者	平出 信次	北沢 政英	北沢 政英	北沢 政英	上田 佳秋	上田 佳秋
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月10日	2021年5月28日	2022年5月30日	2023年10月18日	2024年7月11日